



# 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社

コード番号 4461 URL <http://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大柳 雅利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員財務本部長 (氏名) 浦山 勇

TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	12,999	△3.4	273	△35.9	252	△3.2	131	16.9
25年3月期第1四半期	13,458	△8.2	427	△45.7	261	△60.4	112	△62.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 263百万円 (652.8%) 25年3月期第1四半期 35百万円 (△89.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.09	3.09
25年3月期第1四半期	2.64	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	53,491	18,137	32.1	402.25
25年3月期	55,416	18,200	31.1	404.39

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,164百万円 25年3月期 17,256百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	0.6	1,000	8.7	950	42.8	500	87.9	11.72
通期	55,500	7.1	2,100	19.7	1,900	23.0	1,000	25.5	23.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	43,421,609 株	25年3月期	43,421,609 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	750,126 株	25年3月期	749,246 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	42,671,820 株	25年3月期1Q	42,672,963 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、円安・株高を背景に、輸出や生産に持ち直しの動きが見られ、景気は着実に回復してきております。しかし、雇用・所得環境改善の足取りは鈍く、新興国など海外経済の先行きにも不透明感があります。

化学業界におきましては、エネルギー価格の上昇や円安による基礎原料ナフサ価格の高騰が収益を大きく圧迫しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、この厳しい事業環境を乗り越えるため、コア製品事業の拡販に努めますとともに、将来の成長分野である「環境」、「エネルギー」、「電子材料」、「生活資材」などの分野を中心に新規市場の開拓や新素材の開発に取り組み、原材料の安定的な確保や適正な採算確保、新コスト削減計画による総経費の削減活動などに取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、アベノミクス効果によって公共工事の需要回復があり建築用材料などの『ウレタン材料』は大幅に伸長しました。しかしながら、中国経済の成長鈍化や外需の伸び悩みなどにより総じて需要は低迷し、ゴム・プラスチック用途などの『界面活性剤』は低迷しました。また、地球環境保護の動きに対応した電子部品材料用途の導電性ペーストなどの『電子デバイス材料』が大きく落ち込みましたことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は129億9900万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少に加え、基礎原料ナフサ価格の高騰による原材料価格の高騰が利益を圧迫し、営業利益は2億7300万円（前年同四半期比35.9%減）となりました。

また、円安による為替差益の発生や金融費用の削減などにより金融収支が大幅に改善し、経常利益は2億5200万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。これに固定資産処分損や税金費用を差し引きしました結果、四半期純利益は1億3100万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて低迷しました。

国内では、石鹸洗剤用途や金属用途の活性剤は堅調に推移しましたが、ゴム・プラスチック用途の活性剤は低迷し、トイレタリー用途の活性剤はやや低調に推移しました。

海外では、色材用途の活性剤は堅調に推移しましたが、繊維用途やゴム・プラスチック用途の活性剤はやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は48億4900万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減が功を奏し2億4700万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

#### <アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じて低調に推移しました。

国内では、セルロース系高分子材料は飼料用途が順調に推移し、トイレタリー用途や食品用途はやや低調に推移しました。ショ糖脂肪酸エステルは化粧品用途が堅調に推移しました。

海外では、セルロース系高分子材料は医薬品用途がやや低調に推移しましたが、食品用途は順調に推移しました。ショ糖脂肪酸エステルは食品用途が好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は17億3200万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

営業利益は、新規の研究開発費用などの営業経費がかさみ5200万円（前年同期四半比32.3%減）となりました。

#### <ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

ゴム・プラスチック用途は回復の動きが鈍く、低調に推移しましたが、アベノミクス効果により重防食塗料用途は好調に推移し、岩盤固結剤や建築用材料は堅調に推移しました。また、フロン規制に関連する環境対応型材料は伸長しました。

その結果、当事業の売上高は21億1900万円（前年同四半期比12.6%増）となりました。

当事業は、原材料費の高騰や営業経費がかさみことから4100万円の営業損失（前年同四半期は1100万円の損失）となりました。

#### <機能材料>

機能材料の売上高は、総じてやや低迷しました。

国内では、臭素系の難燃剤は新規開発が実り大幅に伸長しました。光硬化樹脂用材料は、需要の回復により電子材料用途は堅調に推移しました。水系ウレタン樹脂はフィルム用途が堅調に推移しましたが、鋼板向け用途はやや低調に推移しました。

海外では、電気・電子材料用途のリン系の難燃剤は伸長しましたが、臭素系の難燃剤は大きく落ち込みました。光硬化樹脂用材料は、電子材料用途がやや低迷しました。

その結果、当事業の売上高は24億66百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

営業利益は、価格競争の激化に加え原材料費の高騰や研究費用の増加が利益を圧迫し24百万円（前年同期四半比72.0%減）となりました。

#### <電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて大きく落ち込みました。

地球環境保護の動きに対応した電子材料用途の導電性ペーストは大きく落ち込みました。射出成型用ペレットは横ばいとなり、機能性無機材料はやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は18億30百万円（前年同四半期比18.4%減）となりました。

当事業は、研究費用の増加や売上高の落ち込みが響き8百万円の営業損失（前年同四半期は45百万円の利益）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて19億24百万円減少し、534億91百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が1億25百万円増加しましたが、現金及び預金が8億99百万円、商品及び製品などのたな卸資産の合計が8億58百万円減少したことなどによるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ18億61百万円減少し、353億54百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が8億13百万円、短期借入金が3億6百万円、未払法人税等が2億30百万円、長期借入金が5億49百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ63百万円減少し、181億37百万円となりました。その主な要因は、円安の影響等に伴い為替換算調整勘定が1億20百万円増加しましたが、利益剰余金は四半期純利益1億31百万円を計上したものの、配当金の支払2億98百万円などにより1億66百万円減少したことなどによるものです。

また、自己資本比率は、前期末と比べて1.0ポイント改善し32.1%となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日付で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,782	5,882
受取手形及び売掛金	13,717	13,843
商品及び製品	6,552	5,856
仕掛品	44	44
原材料及び貯蔵品	1,752	1,589
前払費用	203	172
繰延税金資産	315	324
その他	1,305	1,200
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	30,661	28,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,103	7,998
機械装置及び運搬具（純額）	2,928	2,999
工具、器具及び備品（純額）	455	444
土地	6,375	6,363
リース資産（純額）	1,495	1,442
建設仮勘定	1,052	1,020
有形固定資産合計	20,411	20,269
無形固定資産		
その他	473	449
無形固定資産合計	473	449
投資その他の資産		
投資有価証券	2,978	2,986
長期貸付金	27	27
長期前払費用	293	287
繰延税金資産	224	217
その他	358	366
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	3,870	3,872
固定資産合計	24,754	24,590
資産合計	55,416	53,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,174	10,361
短期借入金	9,862	9,555
リース債務	1,193	1,139
未払法人税等	298	67
賞与引当金	484	370
環境対策引当金	1	—
未払事業所税	29	8
未払費用	253	259
その他	2,471	2,737
流動負債合計	25,770	24,500
固定負債		
長期借入金	8,849	8,300
リース債務	761	739
繰延税金負債	84	94
退職給付引当金	1,411	1,378
資産除去債務	70	71
その他	267	269
固定負債合計	11,445	10,854
負債合計	37,215	35,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,141	7,141
資本剰余金	5,470	5,470
利益剰余金	4,970	4,803
自己株式	△197	△197
株主資本合計	17,384	17,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△56
繰延ヘッジ損益	—	△23
為替換算調整勘定	△94	26
その他の包括利益累計額合計	△128	△53
新株予約権	16	16
少数株主持分	927	956
純資産合計	18,200	18,137
負債純資産合計	55,416	53,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	13,458	12,999
売上原価	10,876	10,467
売上総利益	2,581	2,532
販売費及び一般管理費	2,154	2,258
営業利益	427	273
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	1
持分法による投資利益	15	20
為替差益	—	36
その他	20	21
営業外収益合計	37	81
営業外費用		
支払利息	72	75
為替差損	49	—
その他	81	26
営業外費用合計	203	101
経常利益	261	252
特別損失		
固定資産処分損	13	10
特別損失合計	13	10
税金等調整前四半期純利益	248	242
法人税、住民税及び事業税	105	59
法人税等調整額	10	23
法人税等合計	115	83
少数株主損益調整前四半期純利益	132	159
少数株主利益	19	27
四半期純利益	112	131



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132	159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△227	△24
繰延ヘッジ損益	△0	△23
為替換算調整勘定	108	112
持分法適用会社に対する持分相当額	21	39
その他の包括利益合計	△97	104
四半期包括利益	35	263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21	207
少数株主に係る四半期包括利益	56	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,056	1,744	1,881	2,531	2,244	13,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,056	1,744	1,881	2,531	2,244	13,458
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	228	76	△11	88	45	427

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,849	1,732	2,119	2,466	1,830	12,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,849	1,732	2,119	2,466	1,830	12,999
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	247	52	△41	24	△8	273

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。